

令和 7 年 6 月 24 日
経 済 警 察 委 員 会

経 済 警 察 委 員 会 説 明

警 察 本 部 長

警 務 部 長

生 活 安 全 部 長

刑 事 部 長

交 通 部 長

警 備 部 長

会 計 課 長

和 歌 山 県 警 察 本 部

警察本部長説明要旨

鈴木委員長を始め、経済警察委員会の委員に選任された皆様方には、日頃より警察活動各般にわたり御理解と御支援を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

それでは、現下の治安情勢について御説明申し上げます。

5 月末現在、刑法犯認知件数及び交通事故発生件数は前年同期に比べ、いずれも減少しております。

しかしながら、オレオレ詐欺等の特殊詐欺被害が急増しているほか、交通事故の死者数が増加傾向にあるなど、現下の治安情勢は予断を許さない状況にあります。

県警察としましては、犯罪の徹底検挙に努めたり、事件事故の発生状況を詳細に分析した上で効果的な対策を講じたりするなど、既存の取組を推進するとともに、変化し続ける社会情勢に伴い新たに浮上する治安上の各種課題に的確に対処し、安全で安心な和歌山の確立に努めてまいります。

この後、県警察の概要、治安情勢の詳細及び法人の経営状況報告については各部長に、

知事専決処分及び令和6年度予算の繰越使用については会計課長に、それぞれ説明、報告させますので、よろしく御審議、御承認を賜りますようお願い申し上げます。

警務部長説明要旨
(議案第 107 号関係、県警察概要、施設整備状況関係)

議案第 107 号「警察官に対する支給品及び貸与品に関する条例の一部を改正する条例」について、御説明申し上げます。

議案書の 21 頁を御覧ください。

これは、国において警察官の服制に関する規則が一部改正されたことに伴い、警察官に対し支給する被服品目から夏服スカートを削除すべく、条例の一部改正をお願いするものであります。

なお、この条例案については、公布の日からの施行をお願いするものであります。

以上で条例議案の説明を終わります。

次に、県警察の概要等について御説明申し上げます。

県警察職員の条例定員については、警察官が 2,183 人、職員が 325 人の合計 2,508 人であり、組織機構については、警務、生活安全、刑事、交通及び警備の 5 部 28 課 1 所 3 隊、警察学校並びに 12 警察署

の構成となっております。

令和7年度警察費の当初予算額につきましては、310億1,432万円2千円で、その内訳は、人件費が229億5,063万7千円、物件費が80億6,368万5千円となっております。

次に、警察施設の整備状況について御説明申し上げます。

令和6年度から2か年計画で進めております海南警察署重根（しこね）交番の新築工事につきましては、今年度中の完成を予定しております。

また、今年度は、かつらぎ警察署花園警察官駐在所の建て替えも予定しております。

以上で警務部関係の説明を終わります。

生活安全全部長説明要旨 (治安概況関係・法人の経営状況報告)

生活安全全部関係の治安情勢及び生活安全全部所管に係る公益財団法人の経営状況について御説明申し上げます。

はじめに、県下の治安情勢について、5 月末現在の数値により御説明申し上げます。

治安のバロメーターといわれる刑法犯認知件数は、前年同期と比較して－58 件の 1,576 件と若干減少しております。

しかしながら、特殊詐欺の被害件数は、警察官等をかたり金銭をだまし取るオレオレ詐欺を始めとして 77 件、被害総額は約 5 億 2 千万円で、依然として高水準で推移しているほか、SNS 型投資・ロマンス詐欺については、前年同期と比較して減少しているものの、被害件数は 36 件、被害総額は約 2 億 8 千万円に及ぶなど、極めて深刻な状況にあります。

県警察としましては、犯罪情勢に的確に対応するため、犯罪発生実態の詳細な分析に基づく総合的な犯罪抑止対策を推進してまいり

ます。

次に、取締り状況について御説明申し上げます。

生活経済事犯では商標法違反事件等で14件10人を、環境事犯では廃棄物処理法違反事件等で39件35人を、風俗事犯では風営法違反事件等で9件8人を、サイバー事犯では犯罪収益移転防止法違反事件等で37件34人を、ストーカー事犯ではストーカー規制法違反事件等で5件5人を、それぞれ検挙しております。

また、刑法犯で検挙又は補導された少年は、98人となっております。

引き続き、県民の安全と安心を確保するため、子供・女性・高齢者の安全を守る活動を始め、少年の非行防止に向けた活動、県民生活を脅かす悪質な事犯に対する取締りやサイバー犯罪対策を推進してまいります。

続きまして、公益財団法人和歌山県水上安全協会の経営状況について御報告申し上げます。

「法人の経営状況報告書」の30頁を御覧ください。

6月1日現在の当該公益財団法人の概況に

つきましては、資料に記載のとおりであります。

32頁の令和7年度の事業計画については、海域等レジャーにおける事故やトラブルを防止するための各事業を計画しております。

36頁の令和7年度の収支予算については、
経常収益 1,220万2,630円
となっており、これが総予算となります。

経常費は、

事業費	1,110万5,332円
管理費	297万3,914円
合計	1,407万9,246円

を計上しております。

令和6年度の事業実績については、38頁から41頁に記載のとおりであります。

42頁の3月31日現在の貸借対照表でありますが、

資産合計	3億2,916万3,374円
負債合計	155万6,098円
正味財産	3億2,760万7,276円

となっております。

この正味財産増減の詳細については、43頁の「正味財産増減計算書」に記載のとおりであります。

以上で生活安全関係の説明を終わります。

刑事部長説明要旨 (治安概況関係)

刑事部関係の治安情勢について御説明申し上げます。

5 月末における県下の全刑法犯の検挙率は 64.1%であり、全国の平均検挙率 38.5%を 25.6 ポイント上回っております。

全刑法犯の約 6 割を占める窃盗犯の検挙率は 67.6%であり、全国の平均検挙率 33.6%を 34 ポイント上回っております。

県民の皆様が最も脅威を感じる殺人、強盗、放火などの重要犯罪については、5 月末現在で 26 件を認知し、迅速かつ的確な捜査により、24 件を検挙しております。

主な検挙は、

- 本年 2 月に和歌山市岩橋で発生した
建造物等以外放火事件

- 本年 3 月に J R 和歌山駅女子トイレ
内で発生した殺人未遂事件

などであります。

特殊詐欺及び SNS 型投資・ロマンス詐欺については、5 月末現在、警察官などを騙ったキャッシュカード手交型の詐欺事件等で

20件9人を検挙し、口座譲渡等の特殊詐欺を助長する犯罪で22件15人を検挙しており、上位被疑者検挙に向けて突き上げ捜査を推進中であります。

次に、暴力団情勢等について御説明申し上げます。

県下の暴力団情勢は、昨年末現在で6組織、約70人であります。

暴力団に対する取締り活動を徹底し、5月末現在で3人を検挙しております。

暴力団の壊滅に向けて、引き続き、あらゆる法令を駆使して暴力団員を徹底検挙するとともに、企業や行政等による暴排活動の支援や資金源の封圧などの各種対策を強力に推進してまいります。

また、薬物事犯については、5月末現在で82人を検挙しております。

引き続き、末端乱用者からの突き上げ捜査を徹底し、密売組織の解明・摘発、供給ルート根絶に努めてまいります。

以上で刑事部関係の説明を終わります。

交通部長説明要旨 (治安概況関係)

交通部関係の治安情勢について御説明申し上げます。

5 月末現在の県内の人身交通事故は、

発生件数 4 8 6 件

傷 者 数 5 5 5 人

死 者 数 1 4 人

で、昨年同期と比較しますと、発生件数で 3 5 件、傷者数で 4 0 人、それぞれ減少していますが、死者数は 4 人増加しております。

本年の交通事故の特徴は、

○ 死者のうち、高齢者が約 9 割を占めること

○ 自転車に関連する事故のほとんどに、自転車側にも法令違反が認められること

○ 依然として飲酒運転者による事故が発生していること

などが挙げられます。

県警察としましては、高齢者の事故防止のための安全教育や啓発を行うとともに、歩行者の安全確保のための「サイン＋サンクス運動」の展開、良好な自転車交通秩序の実現の

ための安全教育や指導取締りを推進しております。

また、極めて悪質・危険な飲酒運転の根絶に向け、酒類提供店への広報啓発や、時間・場所等を考慮した効果的な集中取締りを実施しております。

このような情勢の下、更なる安全で快適な交通環境の実現に向け、関係機関・団体等とも緊密に連携し、各般の対策に取り組んでまいります。

以上で交通部関係の説明を終わります。

警備部長説明要旨 (治安概況関係)

警備部関係の治安情勢につきまして、御説明申し上げます。

はじめに、災害対策について御説明申し上げます。

昨年中、本県では幸いにも、大きな風水害の発生はありませんでしたが、これからの季節は、風水害の発生が懸念されるところであります。

県警察では、これらの被害に迅速・的確に対処するため、全警察署に対し、管内の警戒箇所と発災時にとるべき措置の再確認を通達するとともに、本部警備課の災害救助指導員が主となり、署員に対する災害対処訓練を行うなど、警察署の対処能力向上に努めているところであります。

また、風水害だけではなく、地震災害にも的確に対処できるよう、県警察では、「殉職するな させるな・一人でも多くの住民を救え・最善を尽くせ」をスローガンに、危険な災害現場で活動する警察官の安全確保や、被災地の孤立を見据えた装備資機材の整備、署員の救出救助能力の向上等の災害対策を推進しているところであります。

引き続き、関係機関や地域の団体との連携を図りながら、県警察全体の災害対処能力の向上に努めてまいります。

次に、警護について御説明申し上げます。
近年の警護における事案を受けて、新たな警護要則の下で、習熟度に応じた体系的な教養訓練の実施や装備資機材の整備等警護態勢の強化に取り組んでいるところであります。

また、参議院選挙も控えていることから、引き続き警護対象者の更なる安全確保に向け、

- 警護対象者と聴衆との距離の確保、適切な場所の選定

- 警察による聴衆エリアでの警戒強化、職務質問、所持品検査、交通規制の実施等について、主催者と連携し、国民の理解・協力を得ながら警護に万全を期してまいります。

加えて、主催者・管理者に対して

- 実効的な安全確保措置

- 避難経路の設定

等の事前準備を行っていただけるよう働き掛けるとともに、警察としましても、現場の状況に応じて、配置される警護員に聴衆の安全確保に関する任務を付与するなどの対策を講じて、主催者と連携した聴衆の安全確保に向けた取組を進めております。

以上で警備部関係の説明を終わります。

会 計 課 長 説 明 要 旨
(諸 報 第 2 6 号 及 び 第 3 1 号 から 第 3 3 号 関 係)

「知事専決処分」及び「令和 6 年度予算の繰越使用」につきまして、御説明申し上げます。

まず、知事専決処分につきまして御説明申し上げます。

「地方自治法第 1 8 0 条第 1 項の規定による知事専決処分報告」の諸報第 2 6 号を御覧ください。

内容につきましては、事件捜査の関係で押収した照明器具を警察官が署内で整理中、一部の部品が外れて落下、破損させたことに伴う損害賠償の額につきまして、御報告するものでございます。

本件事故の概要、賠償金の額等につきましては、諸報に記載のとおりでございます。

続きまして、諸報第 3 1 号から第 3 3 号までを御覧ください。

内容につきましては、いずれも、警察官の公務中の交通事故に伴う損害賠償の額につきまして御報告するものでございます。

各交通事故の概要、賠償金の額等につきましては、各諸報に記載のとおりでございます。

次に、「令和6年度予算の繰越使用」につきまして御説明申し上げます。

「繰越使用報告書」の諸報第34号の11頁を御覧ください。

「款9 警察費」の繰越総額は
1億3,256万6千円
でございます。

まず、「項1 警察管理費」
「事業名 警察学校庁舎新築」
の予算額
1億4,900万8千円
のうち、
8,583万1千円
を今年度へ繰り越したものでございます。

内容につきましては、警察学校庁舎新築に伴う造成工事に際しまして、当初予定していた工法について耐久性に指摘があり、工法の変更及び設計の見直しを行ったことにより、契約時期に遅延が生じ、昨年度予定していた工事の一部が困難となったため、その費用を今年度へ繰り越したものでございます。

次に、「項2 警察活動費」

「事業名 交通安全施設整備」の予算額
6 億 9 , 3 2 5 万円
のうち、
4 , 6 7 3 万 5 千円
を今年度へ繰り越したものでございます。

内容につきましては、和歌山市内の国道 4 2 号における交通信号機等の電線類地中化整備が、これに先立つ道路管理者の工事が遅延したことにより、昨年度内での完成が困難となり、その費用を今年度へ繰り越したものでございます。

なお、これら繰越使用につきましては、いずれも本年 2 月議会におきまして御承認をいただいたものでございます。

以上で「知事専決処分」及び「令和 6 年度予算の繰越使用」の説明を終わります。